

化学

【はじめに】

「化学基礎」の内容を踏まえて授業を進めていきます。「化学」の教科書は今まで使用していた基礎の教科書に比べて厚く内容も豊富です。受験に使う、使わないに限らず、社会や生活の発展に化学は大きな寄与をしています。まずは教科書に沿ってしっかりと学び、自分の知識や思考の基礎としてください。また、これらの内容をこなすためには日々の学習が不可欠になります。努力を惜しまなければ返ってくるものも多くなるでしょう。

【授業を受けるにあたって】

予習：授業で初めて聴く(耳にする)用語は、聴き取ることが難しいでしょう。読むだけでいいので、授業の前に教科書を読んでおいてください。音読すると尚よいです。さらに、この部分はどういうことか、内容を重点的に理解しようという姿勢で授業を受けてください。

復習：まず、知識を増やし、次にそれをつなげる原理や法則を理解しましょう。知識も理解も、反復することで確かなものになります。できるだけ毎時間、そしてまとまり(単元)ごとに復習しましょう。

授業を受けるにあたってノートを用意してください。授業でプリントを配ることがありますが、そのプリントはノートに貼って整理していきましょう。

【観点別評価の方法】

○知識・技能の習得(体系化、汎用性)

主に定期考査、実験のレポートの内容、小テストによって判断します。

○思考力・判断力・表現力の育成(思考力、判断力、表現力)

主に定期テスト、実験のレポートの内容、教科書の内容をふまえた受け答え、教師の質問に対する応答等によって判断します。

○主体的に学習に取り組む態度(実践力、協働力)

主に定期テスト、授業態度、課題への取組、教師の質問に対する応答、実験・実習のレポート内容、出席状況等によって判断します。

【教材】

教科書：「化学」 啓林館

副教材：「リードα化学基礎＋化学」 数研出版

「サイエンスビュー化学総合資料」 実教出版